



石川町

議会だより

No. 205

令和2年 8月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会
広報常任委員会

2020 6月 定例会

P2 6月定例会 審議結果

P4 紙上中継(委員会)

P5 あれからどうなった? (一般質問のその後は)

P6 6月定例会 一般質問

P12 政策提言書を提出

P14 「市民の意見を聞く会」から要望書を町長へ提出

地域応援券(プレミアム付き商品券)発行決まる

6月
定例会

6月定例会は6月4日から10日までの7日間の会期で開かれました。

条例の制定及び一部改正、補正予算などの議案が提案され原案のとおり可決したほか、請願3件、議員発議3件を審議しました。

また、一般質問には6人の議員が町政を問い、傍聴には17人が訪れました。

各会計補正予算の主なもの

一般会計

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策として、地域応援券事業及び温泉キャンペーン事業に5,500万円、新型コロナウイルス感染症予防事業に985万円、町道の災害復旧事業に700万円、小規模河川の緊急浚渫^{しゅんせつ}推進事業に480万円を増額するものです。

国民健康保険特別会計

新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する傷病手当金200万円を増額するものです。

◆医療分基礎課税額

医療機関にかかったときの医療費等の給付費用に充てるための財源として納めるもの。

区 分		令和2年度
所得割		7.21%
均等割		18,870円
平等割	一般世帯	15,720円
	特定世帯	7,860円
	特定継続世帯	11,790円

◆後期高齢者支援金課税額

75歳以上の医療保険である後期高齢者医療制度を支援するため、その医療費等の財源の一部として納めるもの。

区 分		改正案
所得割		2.53%
均等割		6,620円
平等割	一般世帯	5,510円
	特定世帯	2,755円
	特定継続世帯	4,132円

◆介護納付金課税額

介護保険制度の財源として、40歳以上65歳未満の加入者(介護保険第2号被保険者)が納めるもの。

区 分		改正案
所得割		2.14%
均等割		7,120円
平等割		4,390円

※所得割：加入者の所得に応じて課税します。

※均等割：加入者1人につき、定額で課税します。

※平等割：加入者数に係わりなく、1世帯につき、定額で課税します。

令和2年度の国保税は、被保険者の負担軽減のため、前年度の決算剰余金3800万円を充当してもなお納付金に不足が生じ、計画的・段階的な税率引き

上げが必要です。昨年の台風第19号による被害や、今般の新型コロナウイルス感染症の影響による減収等も懸念される状況にあります。被保険者の負担増加

を避けるための措置として、国民健康保険財政調整基金から1000万円の税率を繰り入れ、前年度の税率を据え置くことになりました。

令和2年度

国民健康保険税決まる
前年度の税率に据え置きとなりました

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案・請願	審議結果		
議案 第31号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の制定について	原案可決	全	員
議案 第32号	石川町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第33号	石川町税条例等の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第34号	令和元年台風第19号災害による被災者に対する町民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第35号	石川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第36号	石川町給水条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第37号	令和2年度石川町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全	員
議案 第38号	令和2年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全	員
議案 第39号	郡山市と石川町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結に関する協議について	原案可決	全	員
議案 第40号	石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第41号	石川町農業委員会委員の任命について	原案可決	全	員
議案 第42号	石川町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
請願 第4号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採 択	全	員
請願 第5号	雇用調整助成金のさらなる改善・拡充等を求める請願書	採 択	全	員
請願 第6号	強力な第2次補正予算の早急な編成を求める請願書	継続審査	全	員

議案番号	発議	審議結果		
発議 第5号	石川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
発議 第6号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決	全	員
発議 第7号	雇用調整助成金のさらなる改善・拡充等を求める意見書	原案可決	全	員

石川町農業委員会委員の任命に同意

石川町農業委員会委員の任命について、全員異議なく同意しました。

- 遠藤武重（王子平）
- 根本常和（沢井）
- 佐川修一（赤羽）
- 緑川喜友（板橋）
- 緑川一男（山形）
- 仲田昌勝（中田）
- 芳賀正幸（北山）
- 近内貞夫（塩沢）
- 金沢和則（鹿ノ坂）

第3回臨時会

第3回臨時会は、令和2年5月1日に開催され補正予算1件、専決処分3件が審議されました。

専決処分の承認について

新型コロナウイルス感染症防止に伴う軽自

動車税の納期限の変更や保育施設、小中学校の児童生徒への布マスク配布経費など感染防止を図るため、歳入歳出それぞれ495万円を増額する専決処分を承認しました。

一般会計補正予算第1号の主なもの

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、特別定額給付金に15億49万6000円、マスクの全戸配布経費に535万円、飲食業、旅館業の事業継続支援経費に2165万円、小中学校の副教材購入経費に972万5000円の増額、また、町営住宅使用料の減免に伴う57万5000円を減額とする提案がされました。審議の結果は全員異議なく可決されました。



総務産業建設常任委員会

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者などに係る減免に関する条例が可決されました。

Q 国民健康保険税の減免条件は。

A 次の(1)、(2)いずれか、どちらも該当する方は減免の大きい方が適用となります。

(1) 主たる生計維持者が死亡、又は重篤な傷病を負った世帯は、全額減免となります。

(2) 主たる生計維持者の事業収入等(事業、不動産、山林、給与)の減収が見込まれ、①～③すべてに該当する世帯です。
①事業収入等の減少額が30%以上。
②前年の合計所得金額が1000万円以下。
③減少が見込まれる事業

収入等以外の前年の所得合計額が400万円以下。

なお、減免額は、前年の所得額や世帯に属する全ての被保険者の前年の合計所得金額等により算定されます。詳細は税務課課税係にご相談ください。

Q 介護保険料の減免条件は。

A 第一号被保険者が、次の(1)、(2)いずれか、どちらも該当する方は減免の大きい方が適用となります。

(1) 主たる生計維持者が死亡、又は重篤な傷病を負った第一号被保険者は、全額減免となります。

(2) 主たる生計維持者の事業収入等(事業、不動産、山林、給与)の減収が見込まれ、①と②に該当する第一号被保険者です。

①事業収入等の減少額が30%以上。
②減少が見込まれる事業収入等以外の前年の所得合計額が400万円以下。

なお、減免額は、前年の所得額や生計維持者の前年の合計所得金額等により算定されます。詳細は保健福祉課高齢福祉係にご相談ください。

*第一号被保険者は65歳以上の方です。

予算審査特別委員会

小・中学校児童生徒副教材購入費の支援について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小中学校を休校したことにより、保護者の皆様には、児童・生徒の家庭での学習や生活指導において、様々な工夫を凝らし対応していただいたところです。

町では、教育費の負担軽減を目的として、例年保護者の皆様に負担いただいている公立小・中学校で使用する副教材(問題集・参考書等)購入にかかる経費(1万円程度)を今年度に限り全額補助いたします。

なお、私立小・中学校等は、一律1万円を補助いたします。詳細は、教育課学校管理係へご相談ください。



廃校の有効活用について 廃校施設の利活用について (旧中谷第一小学校)



▲石川義塾「中谷寮」に生まれ変わった旧中一小

平成30年11月に学校法人石川義塾理事長から旧中谷第一小学校を学生寮として活用したいという依頼に対し、町では学校教育の振興と地域のにぎわいの創出に資するという判断から、無償貸与契約を締結しました。

現在は、校舎の改修工事が完了し、4月から石川義塾「中谷寮」として運営され、12月に完成予定の野球部屋内練習場の建築工事が進められているところです。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

第一鉱体の坑道内通路 改修工事予定

●和久観音山鉱山跡の国指定文化財を目指し環境整備を進めていきたいという答弁だったが、その後の状況は。

い、令和2年3月23日に「石川町のペグマタイト鉱物と和久観音山鉱山跡」を県指定文化財に指定しました。

●和久観音山鉱山跡が国指定文化財の指定を受けるためには、県指定文化財になることが条件となります。町では、令和元年度に県教育委員会に指定の推薦書を提出し、県文化財保護審議会委員、県教育委員会が2度の鉱山跡の調査を行う

今年度は、県指定文化財として一般に公開するため、第一鉱体の坑道内通路の改修工事を行い、安全対策を進めていきたいと考えています。



▲第一鉱体の坑道内通路

Q 教育ICT化の進捗状況は

A 今年度中に全学年の児童・生徒分の端末を整備していきたい



乾 初美 議員

(教育ICT化)
ハード面、ソフト面、
人材の確保を同時に
進めてほしいなあ。

◆新型コロナウイルス
感染症に伴う学校に
おける対策について

質問 学校再開後の感
染症対策について伺う。
答弁 ①登校・出勤前
の検温及び風邪症状の
確認②手洗い・消毒の
徹底③換気の徹底④身
体的距離の確保⑤マス
クの着用の徹底といっ
た、五つの取組みを徹
底し感染防止に努めて
います。

質問 スクールバスの
感染症対策について伺
う。

答弁 バスの増便や消
毒の徹底、会話を控え
るなど工夫しています。

質問 授業の遅れを取
り戻すための取り組み
について伺う。

答弁 夏季休業期間に
十日間の授業日を設け、
授業日数を確保してい

きたいと考えています。

質問 再度臨時休校と
なった場合は、家庭で
も端末を活用できるよ
う進めていく必要があ
るのでは。

答弁 オンライン授業
を有効に活用していき
たいと考えています。

要望 健康観察に加え
て、学習成果の確認が
できるよう進
めて欲しい。

て、学習成果の確認が
できるよう進
めて欲しい。

質問 休校中
の児童生徒の
様子確認と学
校再開後の心
のケアについ
ての取り組み
を伺う。

答弁 「電話
による確認」
「登校日の設
定」「分散登
校による確
認」を実施し
ました。今後、

アンケートを実施し、
担任・養護教諭・スクー
ルカウンセラーが連携
して児童生徒の状況把
握に努めていきます。

要望 スクールカウ
ンセラーによる支援に加
えて、偏見や差別の防
止の徹底に努めていた
だきたい。

◆避難所における生活
環境の整備について

質問 避難所における、
暑さ・寒さ対策につい
て伺う。

答弁 扇風機や冷風機、
温風器やストーブ等の
冷暖房機器を活用する
ことを予定しています。

要望 冷暖房が完備さ
れた施設への分散避難
や、配管工事が不要な
スポットクーラーなど
の導入を検討してい
ただきたい。

Q 新型コロナ禍で町の経済的な支援は

A 町独自の緊急支援策を展開します



菊池美知男 議員

いっぱい質問します。

◆新型コロナウイルス対策について

質問 本町における経済的影響と町独自の支援策について伺う。

答弁 町独自の緊急支援として店舗等維持費助成、飲食店等応援事業、新型コロナウイルス対策特別資金保証料補助金の3つの事業に取り組んでいます。

質問 発生した場合の町の体制について伺う。

答弁 石川町新型コロナウイルス感染症対策

本部を設置し、対策に努めていきます。

質問 災害が起きた際の避難所における対応について伺う。

答弁 3つの密を回避し、基本的な感染予防対策を講じていきます。

質問 長期休業に伴う学習等の遅れの対策について伺う。

答弁 夏季休業期間や中止となった対外行事及び先生方の研修会等を充てることで授業日数を確保する考えです。

質問 学校等再開に伴う感染予防対策について伺う。

答弁 文部科学省の衛生管理マニュアルに基づき、新しい生活様式を導入し、感染症防止に努めています。

◆地域防災計画の見直しについて

質問 地域防災計画の見直し方針について伺う。

答弁 国の災害対策標準化の考え方や先行事例を参考に、より実践的な体制の見直しを図ります。

質問 地区防災計画作成の推進について伺う。

答弁 計画の意義や必要性を丁寧の説明し、先進事例や作成マニュアルを紹介しながら作成を支援していきたいと考えています。

◆今後の財政の見通しについて

質問 道の駅整備、浄水場改修、認定こども園整備等大型事業の今後の計画と財政計画について伺う。

答弁 各事業とも基本設計を策定した段階で

お示しし、中長期的な財政見通しを立てながら取り組む考えです。

◆学校の統廃合について

質問 学校統廃合の考え方とメリット、デメリットについて伺う。

答弁 学校統廃合は、町立小中学校統合計画に基づき対応します。

統合して児童生徒数が増えたと同学年の多くの友達と切磋琢磨できる一方、個別的な生活指導が図りにくくなることが考えられます。

◆高齢者の温泉利用の助成について

質問 令和元年9月議会で前向きに検討するとの答弁であったが、その後について伺う。

答弁 今後、高齢者の介護予防、健康づくり、生活支援と入浴等の娯楽についてのニーズを把握していく考えです。

Q 地域外来検査センターの開設は

A 石川町村会を中心に県、郡医師会等と協議中



瀬谷 寿一 議員

今年は、水害がないことを祈るばかりです。

◆新型コロナウイルス対策について

質問 新型コロナウイルス対策下の避難所は、通常の3〜4倍の広さが必要となる。対応は、**答弁** コロナの対策を含めて、一体町民がどこに安心して避難できるのかということをもう一度洗い直して、きめ細かな対策を考えていきます。

質問 避難勧告等にサ



▲福島県がひらた中央病院に委託し、7月6日から「石川郡地方発熱外来センター」を開設。石川郡医師会、石川地方町村会が協力しています。

イレンの使用ができな
いか。

答弁 警戒レベルごとに発する情報の中でサイレンを使用したと考えています。

質問 各地区の避難所

の運営等を定める地区防災計画づくりはいつから行うのか。

答弁 今年の夏からハザードマップや避難所の見直し等を行い、あわせて地区防災計画の策定に入ります。

◆給水区域拡大について

質問 今回の給水区域拡大地区は、どこか。
答弁 今回の区域拡大検討地区は、字長久保周辺、国道118号沿い、県道いわき石川線沿いの給水未普及地区です。

質問 谷地・坂路地区は40年近くも待たされている。今回、是非、給水区域に**答弁** 検討させ

ていただきます。

◆トラクター公道走行の免許取得助成について

質問 法改正によりトラクターで公道走行する際に幅1・7mを超える農作業機を装着した場合、大型特殊免許が必要となった。免許取得への支援はないのか。

答弁 個人資格でもあることから他の自治体の支援状況等を調査し検討していきます。

質問 石川町の農業者の80%は、60歳以上という状況だ。免許取得費が10万から15万と言われている。負担が大きい。積極的に支援を考えてほしい。

答弁 県内ですでに実施しているところもあります。全体的に見た上で検討していきます。

Q 3密対策で通学バス・修学旅行の増便を

A 修学旅行や学習旅行はどうしても密になる場合は増便します



渡辺 実 議員

質問 学校再開の課題は。

答弁 学習進度の遅れ、学校生活習慣への適応、体力・運動能力の低下です。

質問 再開の進め方は。

答弁 新しい生活様式で、児童生徒の学びを保障します。

「登校・出勤前検温・風邪症状の確認」「手洗い・消毒」「換気」「身体的距離の確保」「マスクの着用」を継続します。

質問 コロナ対策で、学校の改修や設備更新などが必要ではないか。

答弁 今は考えておりません。

クラスを二つに分けたり、広い教室での授業など工夫しています。

質問 夏場の対応は。

答弁 熱中症が心配されます。

エアコンで冷やして、休み時間に喚起を徹底します。モトガツコの網戸を早急につけるように働きかけていきたいと考えています。

質問 国の第2次補正で、学校関係の感染症対策費1校当たり100万〜300万円が予算化、その対応は。

答弁 十分学校の意見を聞いて、対応します。

要望 就学援助費申請への工夫を要望します。



▲洪水対策が進む北須川

◆北須川・社川の洪水対策を県に要望

質問 昨年のような大雨が降ったら心配、対応は。

答弁 県は7ヶ所で復旧工事を発注、堆砂除去や堤防補強を行っています。町は堀田川の堆砂除去を予定します。

質問 北須川の松木下から猫啼まで堆砂除去と堤防補強を、県に要望を。

答弁 早急に善処します。

◆コロナ対策で、商工業者に支援強化を

質問 水害への支援は。

答弁 クリーニング料助成21事業者、国の持続化交付金54事業者、グループ補助金44事業者に活用いただいています。

質問 新型コロナウイルスへの支援状況は。

答弁 飲食店等応援事業24事業者及び店舗等維持費助成56事業者に支援しています。今後、プレミアム付き商品券、温泉応援キャンペーンを実施します。

質問 国・県の支援制度を町民に周知する考えは。

答弁 周知を検討します。

Q 臨時休校による今年度の評価は

A 小学校は9月と3月の2回、 中学校は学期ごとの評価とします



瀬谷 京子 議員

質問 感染症対策に伴う臨時休校中の家庭学習の評価は。

答弁 学校再開後に学習プリントを回収し、学習状況を把握するとともに、小テスト等で学習状況を確認し、学校における学習評価に反映させるようにします。

質問 自宅待機中にストレスから、ひきこもり、虐待、不登校の要因となる事例は。

答弁 今のところありませんが、今後出てくる可能性を踏まえ、教育相談を実施し、早期発見、早期対応に努めます。

ます。

意見 臨時休校による授業の遅れは、夏季休業の短縮や行事の中止による授業時間の確保で、年度内の予定学習を終えるとしているが、再開後授業最優先とせず、学校教育の目標自体は持ち続け、子どもや先生方の負担過重にならないように願う。

Q 台風第19号災害復旧の進捗状況は

A 公共土木施設80%、農業施設84%です

質問 残りはいつ。

答弁 今月中に発注して年度内に完了させたいと思います。また、コンバイン等は稲刈り時期に間に合うよう対応します。

質問 災害ごみの回収方法に問題があったが。

答弁 自己搬入で分別していないため、時間、経費、労力がかかりました。

巡回回収の仕組みづくりで円滑な回収を考えます。

質問 災害時、分散避難となると学校施設が避難所となる、学校避難所利用計画の策定は。

答弁 体育館が避難所に指定されていますが、教職員の支援体制や運営方法を含めた利用計画は策定されていません。今後、町防災担当部局と協議し、利用計画策定の検討、機能強化に努めたいと考えています。



▲コロナ対策のため、マスク着用で通学する生徒達

Q 病院誘致、3月中に考え方を示すとしていたが現状は

A コロナがある程度終息していけば本格的に誘致に取り組みたい

質問 協議はされているのか。

答弁 病院誘致は私の公約の重要事項の一つです。実現に向け真摯に取り組んでいきます。しかし多くの事業の調整を図る必要があります。また、コロナ対策に専念するため検討、協議が難しい状況です。

Q 台風第19号災害廃棄物処理の現状は

A 現在(6月8日)までに3,000トン进行処分



根本 重泰 議員

災害廃棄物、概算で約33,400トン！想像もつかない量だな…

質問 クリスタルパーク駐車場・多目的広場の約1万トンの災害廃棄物処理状況は。

答弁 現在までに3000トンの災害廃棄物を処理しております。何とか年内に片づけられるよう頑張っているところです。

質問 広域処理と聞いているが、搬出先の自治体は。

答弁 可燃ごみの焼却

をお願いしている新潟県三条市に、3月46トンを搬出しています。しかし、コロナの影響により県外移動禁止等でそのままです。いわき市南部清掃センターへ、1日約12トン搬出し、4月に144トンの処理をお願いしました。

また、可燃廃棄物以外は、別の処理業者をお願いしています。

質問 今後、被災住宅の公費解体災害ゴミが出るが、その申請状況と処理は。

答弁 公費解体の廃棄物(約2万3400トン)は、クリスタルパークの第一・第二駐車場、多目的広場を中心に処分しようと考えています。

現在、約100件の申し込みがあり、8月9月には第二次募集を考えています。

質問 クリスタルパークの使用はいつから。

答弁 当初予定した廃棄物処理量よりも少ないと考えられますので、なるべく第一駐車場を空けるような形で進めていきたいと考えています。

質問 旧中谷第二小学校グラウンドの災害廃棄物は。



▲旧中二小グラウンド (6月7日撮影)

答弁 ごみを処分して、復旧作業を行う予定でいます。

地元行政区の要望等もありますので、なるべく地元の期待に応える形で復旧したいと考えています。

●地元経済を守る積極的な施策を

質問 コロナウィルス対策に石川町中小企業・小規模企業振興会議を活用してほしい。

答弁 長期化、長期戦になるコロナウィルス感染症対策、どういった支援を望んでいるのか、そういった声をくみ取ればと考えています。

質問 商工会との関係は。

答弁 商工会と行政は一つの輪になっていかねければならないと考えています。

政策提言書を提出



早期の決断
実行を要望

◆農産物の特産品化について（総務産業建設常任委員会）

1. 課題 ①農業人口等 ②農産物販売金額規模別農家数
③一次産業の衰退と可能性 ④新規就農者の確保

2. 提言内容

- (1)町のリーダーシップにより、農産物の特産品を開発する仕組みを構築すること。
- (2)新たな特産品開発のため、優秀な専門家の確保を図り、農業者等を指導できる体制の整備を図ること。
- (3)大学や研究機関との連携を図り、農産物特産品の開発を進めること。

3. おわりに

現在、農業は大きな注目を集めていると考える。後継者がいない、遊休農地が拡大している等、多くの課題を抱えてはいるが、日本の食料自給率を支えていくためには最も大切な産業であることを再度認識する必要がある。

本町においても、同様の課題を含め様々な課題が山積しているが、石川町第6次総合計画に掲げられている「誇りと希望の持てる農業」の確立を図るため、町がその中心となって農業の在り方を再構築し進めていくことが必要であると考えます。

将来に向けて多くの農業者が夢と希望を持ち、本来の意味での本町の「基幹産業」となり、農業により石川町が活性化されることを期待するものである。

議会では活動の充実と町民の議会参加を促進するため「議会報告と町民の意見を聞く会」を開催し、参加者からいただいた議会活動に対する意見や町政に対する要望等を整理し、各常任委員会による調査・研究を行った2件について、町長へ政策提言書を提出しました。

◆ 高等教育奨学金の償還支援制度・給付型奨学金制度について（文教厚生常任委員会）

1. 課 題
 - ①貸与可能人数が少ない
 - ②応募者が少ない
 - ③原資が限られている

2. 提言内容

- (1)人材育成、教育の機会均等を目的とした給付型の奨学金や定住促進を目的とした貸与型の奨学金など目的別の奨学資金制度について検討を行うこと。
- (2)定住促進を目的とした貸与型の奨学金については、定住に対する返還猶予制度、返還免除制度、減額返還制度等の検討を行うこと。
- (3)寄付やふるさと納税制度など新たな基金調達方法について検討を行うこと。
- (4)地元企業や地元金融機関との連携による奨学資金の検討を行うこと。

3. おわりに

本町において、高等教育奨学金の制度拡大は、財源の問題など様々な課題が想定される。しかしながら、視察を行った下仁田町では「子供たちが成長して下仁田町へ帰ってくることを地域全体で応援する新しい奨学資金制度」を地元金融機関、地元企業と連携して制度設計を行っており、将来的な人材育成にまで結びつけている。

故郷石川を愛し、故郷石川に住み続けることができる人材を確保するため、この提言をしっかりと受け止めていただき、支援可能な奨学金施策に積極的に取り組まれることを強く望むものである。

から要望書を町長へ提出

2. 農業の振興について

① 新規就農者の育成について

先進的な科学技術を取り入れたスマート農業の導入などにより、新規就農者が意欲と使命を感じることができる対策を行うと共に、新規就農者を支援する仕組づくりを進めること。

回答
(抜粋)

ICT（情報通信技術）等を活用したスマート農業の導入により新規就農者などがその経験を補い、安定した農業経営を実現するための一つの方策と捉えています。それらを踏まえ、農業経営改善支援センターを中心とした新規就農者等の支援強化に努めます。

② 農産物の特産品化について

農産物品目の付加価値化の向上と6次化による新たな製品の開発等を行い、農産物の特産品化を図ること。

回答
(抜粋)

農業者や加工業者、消費者等をメンバーとした地域産業6次化推進組織を立ち上げ、商品開発や人材育成などに取り組みます。

③ 有害鳥獣対策について

イノシシが原因だと思われる被害が多発している。農業者の生産意欲を減退させないためにも更なる強固な対策を進めること。

回答
(抜粋)

農地周辺の草刈りや侵入防止柵の設置などの集落ぐるみの取り組みを確実に実施することで、農作物被害を軽減できます。引き続き、この取り組みを推進するとともに、現在、狩猟免許所持者が高齢化等により減少しているため、若手の人材育成に向けた支援策の検討を進めます。

3. 子育て支援（保育）の充実について

① 保育について

認定こども園の建設が計画されているが、建設場所については、安全で安心できる場所に建設すること。また、保護者の負担軽減や児童通所の安全確保の観点から送迎について検討すること。

回答
(抜粋)

認定こども園の建設は、敷地の広さ・建物の規模についての検討のほか、児童が安全に行動できる場所、児童送迎の保護者車両の対応が可能な場所、安全に通所させるための方法といった視点に立ち、現在、関係機関と協議し情報収集に努めながら、建設に向けた検討を進めてまいります。

② 子育て支援について

保育所における長時間保育や夏休み期間の子ども預かりなど、保護者のニーズに即した支援について検討すること。

回答
(抜粋)

現在、子育て中の保護者への情報提供の在り方について検討を進めているところであり、今後も、保護者ニーズの把握に努め、子育て支援の一層の充実に努めます。

福島県町村議会
長より町村議会議員
として11年以上在職
の自治功労者として
瀬谷京子議員が表彰
されました。
長年の功績が認め
られ、草野議長より
伝達表彰が行われ、
同僚議員から祝福の
拍手が送られました。



自治功労
表彰



令和2年5月13日、今後の町政に反映されるよう石川町議会として町長へ要望書を提出しました。

6月2日に回答がありましたので、抜粋内容を掲載します。

1. 災害対策について

① 防災計画の見直しについて

台風第19号など、近年の災害の教訓を活かし、地域防災計画の見直しを行うこと。特に避難所のあり方については、多くの課題が生じたことから、その見直しを行うこと。

**回答
(抜粋)**

防災・減災対策を見直し、発災時における初動体制のあり方と、復旧に対する迅速な対応を図れるような防災体制を構築する必要があるため、町の地域特性を鑑み、行政・地域・町民による防災対応力の向上を念頭に石川町地域防災計画の改訂を進めます。

さらに、指定緊急時避難場所及び指定避難所の整理検討を進めます。

② 自主防災組織の育成について

台風第19号により多くの町民が被災し、行政機能だけでは対応が難しい状況となった。近隣同士で助け合う「共助」が大きな役割を持つことから、住民による迅速な安否確認や救助活動が可能となるよう自主防災組織の育成を行うこと。

**回答
(抜粋)**

町内各地で自主防災組織が結成され、活発な活動が展開されるように、組織の設立支援や活動への補助制度の創設等必要な支援を検討してまいります。

③ 災害時の情報伝達について

迅速・的確な災害情報を提供できるよう情報伝達基盤の整備を図ると共に、より効果的な情報伝達手段について検討すること。

**回答
(抜粋)**

災害時避難情報の伝達方法については、防災行政無線と併用して、広報車による伝達、緊急速報メール、Lアラート、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、必要な情報を的確に発信します。

現在、防災行政無線のデジタル化移行へ向けた機器更新工事に合わせ、戸別受信機（防災ラジオ）の全戸への貸与を計画しています。これにより、受信環境が整い防災情報の周知向上が図れます。

④ 消防団の組織強化について

消防団員のなり手不足が依然として続くなど厳しい状況にある。消防団員の確保や施設の維持に対して、十分な支援を講じると共に、自治会消防等の支援組織等その対応策について検討すること。

**回答
(抜粋)**

部の統合による組織の効率化、消防団を補完する組織（消防OB等）の検討などを視野に入れた持続可能な組織体制への転換を考えていきます。

未来に向かつて

・高校生の声

県立石川高校

3年

わたなべ 渡邊

さゆき 紗雪

広がる未来 (私にとっての八槻市)



礼に始まり礼に終わる。見てくれる人がいて、見てもらえる場所がある。そのことに感謝して、ありがたうの気持ちを含めて踊る。これは私の一番の楽しい時間です。

私は、3歳の頃からよさこいを続けています。高校入学後も石川郡よさこい踊り隊に所属し、活動を続けてきました。私の大好きな

よさこいを地元で一日中楽しめるイベントは、近津神社のお祭(八槻市)だけです。自分が踊ることはもちろん、たくさんさんのチームの踊りを見たり、違うチームの友人と一緒に踊ったり、まったく飽きることはありません。普段は、踊り子の後ろにいる旗士さんたちが一斉に旗を振る演技は、間近で見るとすごく迫力があります。本当に格好いいです。そして最後は全チームでの総踊りです。大好きなものをたくさんの人たちと共有できることは本当に気持ちいいです。



◀私の大好きなよさこい

私は、今まで何度もよさこいに救われてきました。つらいことや悲しいことがあっても、よさこいがそれを忘れさせてくれました。自分の大好きなことを思いっきりできる場所が石川町にはあります。これから、そのことに感謝し、この町を大切にしていきたいと思っています。

編集後記

太陽の眩しい季節、躍動感あふれる開放的な夏。

海や山の景色は、例年と何も変わらない。ところが今年の夏は、いつもと違って

新型コロナウイルス感染症禍のため、当たり前だった日常そのものが、奪われてしまった。

遠い昔、人類が生業を狩猟から農耕を選んだ時、集団生活による密集化や穀物の貯蓄に

伴い鼠等による感染拡大からウイルスとの共存が始まったと言われている。

現代における私達が、かつて経験したことのないコロナ禍は、学び方や働き方、日常生活の全般に渡り以前に戻る事があるのかと不安もある。

しかし、「明けない闇夜はない」明るい希望に満ち溢れた記事満載の議会だよりをお届けできるように、日々奮闘していきたい。

菊池美知男

9月定例会
「一般質問」は
9月7日(月)
の予定です。

議会広報 常任委員会

委員長	瀬谷 寿一
副委員長	藤島 一浩
委員	乾 初美
委員	菊池美知男
委員	根本 重泰
委員	小木 芳郎